



Support SE 愛LOVE友 Education

No.1
美瑛町立美瑛中学校 すだちの教室
2020年4月6日 発行
文責 特別支援教育コーディネーター三上山



オギャーと生まれた時に**母子手帳**が配られます。美瑛町では、母子手帳と一緒に**子育て支援ファイル「すとリーむ」**が配られ、子育ての記録を継続して、記入することになっています。子育てに関わる連携を出生から取り組むことが本町の特色で、美瑛システムです。この一冊の意味しているものは、特別支援在籍の有無に限らず、それぞれ個々の特性を見つめていく、大切な一冊になります。

保護者との教育相談をしていると在籍(障がい)の有無に関わらず、大切に記録をしてくれている保護者さんがいます。良いことも、辛いことも記録することの重要性を感じています。特に思春期に起きる様々な課題は、幼少期に小さな芽が解決されないまま繋がるケースが報告されています。私も教育相談の中で、たくさん聞いてきました。この一冊を保護者さんと成長していく本人が上手に利用できるお手伝いをさせていただきたいと思います。

すだちの教室(通級指導教室)が正式に2019年度4月に美瑛中学校に開設され、2年目を迎えています。保護者とのケース会議、自立活動チェック表や地域支援コーディネーター目良Tからのアセスメント結果の交流で**本人の実態把握**をさせていただいています。**本人アプローチを進める中で、課題を整理し、少しでもその課題が和らいでいけるように配慮し、いろいろなシステムを考えながら、2020年度も運営**していきます。まだまだ未熟な教室(私)ですが、どうぞご協力/ご支援の程、よろしく願いいたします。(通級担当 三上山/鈴木陽/井上)

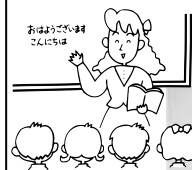
すだちの教室の利用方法として**自立活動をスキル化して、日常生活で使えるようにすること**です。

自立活動とは、**社会で生き抜くために、自分を元気にさせるスキルを学ぶこと**です。大きく分けると**ソーシャルトレーニング、ライフスキルトレーニング、アカデミックスキルトレーニング**に分けられます。

これらのトレーニングが本人にとって、いかに有効か実態把握をして、実践シェアしていくことが大切になります。

- ①自立活動チェックリスト表の作成から自立活動スキル項目の検討→個別の指導計画
- ②具体的な指導内容の整理→個別の指導計画
- ③実践したことをSNSで、リアルタイムもしくは直後、写真とコメントで通知→**見える化**
- ④複数の指導者の視点から、指導結果を冷静に分析し、保護者及び担任と共有→**複数視点**ケース会議の重要性
- ⑤担任への通知⇔通級担当者との連携 日常的なトーク連携とケース会議の重要性

★**無料通話アプリLINE**を上手に使い、子育て相談や指導教室の内容を丁寧に伝えて、信頼を得ていくことが大切だと感じています。何をどのように伝えて、共有し理解を深めるか大切なポイントになると思います。思春期特有の子育て支援の悩みに対するアプローチを今後も進めていきます。もちろんその中核は、学級担任です。担任を通級担当者が全面的にサポートしていきます。★



4月のケース会議及び通級指導の日程調整について→4/6から、**随時、電話で確認**させていただきます。

